




令和2年度 主な事業

安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—		
参加・協働の推進 いきいき協働事業の実施など	306万円	地域防災計画の修正 387万円
男女共同参画推進計画の策定	355万円	沿道建築物の耐震化等の促進 ブロック塀撤去・改良補助、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修補助
防犯対策の充実 防犯カメラを整備する団体への支援、自動通話録音機の貸与	239万円	消防団の機能強化 火災予防広報や応急救護の普及指導などに従事する団員の採用
庁舎非常用電源設備の強化	1,180万円	ルネこだいらの設備改修 5,149万円
被災者用備蓄の整備 地域防災計画に基づく、食料など被災者用備蓄品を整備	3,001万円	鈴木道跡国指定史跡化等の推進 659万円 市民向け遺跡概要パンフレット作成、周知・啓発など
防災行政無線（固定系）のデジタル化改修	1億3,789万円	

快適で、ほんわかとするまちをめざして —緑・水・環境—		
市民の力による身近な緑を育む取組 公園アダプト制度の推進など	114万円	 地下水活用による流水再生に向けた用水路の整備 護岸整備、土砂の浚渫など 2,000万円 リサイクルセンター地域還元エリアの整備 旧施設解体跡地への憩いの場の整備など
特別緑地保全地区用地の取得	1億9,460万円	
鎌倉公園、鷹の台公園、武蔵公園の整備 事業認可図書作成、アンケート調査、設計など	5,034万円	
みどりの基本計画の策定	400万円	
公共下水道長寿命化対策の推進 下水道施設調査（上水南処理区分）、長寿命化改築・修繕工事（鈴木処理区分）など	5億5,808万円	
公共下水道雨水整備の推進	4億2,977万円	
下水道プランの策定	500万円	
環境基本計画の策定	731万円	
E S C O（エスコ）事業を活用した照明LED化など 小・中学校26校（建替予定の十一小除く）の照明LED化など	債務負担行為設定	
省エネルギー・創エネルギーの推進 太陽光発電設備・燃料電池の設置補助	1,037万円	
電気自動車導入の拡充	2,289万円	
食物資源資源化推進事業の拡充 家庭から出る生ごみの堆肥化	1,488万円	

健康で、はつらつとしたまちをめざして —一次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習—		
児童クラブの新設 八小児童クラブ第二・第三、十二小児童クラブ第二・第三（令和3年度開設予定）	3億1,147万円	障がい者福祉計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定 483万円 心身障害者（児）日常生活用具給付事業の拡充 14万円
民設民営児童クラブに対する補助金制度の創設	2,414万円	障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援 1億2,672万円
子ども広場事業の充実 開設日の拡充など	1,950万円	児童発達支援センターの整備 770万円 たいよう福祉センターの改修などの設計
認可保育園（私立保育園）の新設	1億2,395万円	学校施設の整備 3億2,698万円 十二小増築、八小・十小大規模改修工事など
認可保育園等の使用済みおむつの処理費補助	523万円	花小金井南中学校地域開放型体育館の建設 11億1,864万円 建設工事、備品などの整備
小平市認定家庭福祉員（都制度）の家庭的保育事業（国制度）への移行	1,349万円	小学校給食調理業務の委託化 6,106万円 十四小の給食調理業務の委託、十三小の強化磁器食器などの整備
子育て世代包括支援センターの開設 健康センターに開設	2,138万円	学校給食センターの更新 8,316万円 令和3年度開始予定の代替給食の提供に向けた準備など
予防接種スケジュール管理等モバイルサービスの開始	86万円	特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画の策定 377万円
ロタウイルスワクチン予防接種	2,723万円	特別支援教育の充実 920万円 特別支援教室の導入に向けた教材・備品などの整備（一中・三中・六中・花南中）
子育て応援サイト管理運営支援	108万円	教育のICT化の推進 2,628万円 小学校PC教室へのタブレットの追加配備など
ひとり親家庭・生活困窮者学習支援事業におけるICT活用	119万円	学校における働き方改革 2,322万円 副校長の業務補助を行う職員、部活動指導員の配置拡充など
自立相談支援機関におけるひきこもり相談・支援の実施 社会福祉協議会「こだいら生活相談支援センター」の相談体制拡充	200万円	コミュニティ・スクールの充実 233万円
受動喫煙防止リーフレット（駅前公衆喫煙所マップ付）の作成	50万円	小川西グラウンドの人工芝化 389万円
こだいら健康ポイント事業	502万円	
地域包括ケア推進計画の策定	354万円	
地域における介護予防や支え合い等への支援の充実	84万円	
高齢者の見守り体制の充実（ふるさと納税返礼品の追加）	17万円	
地域密着型介護サービスの整備支援事業 看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設準備補助	671万円	

住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—		
小川駅西口地区市街地再開発事業の推進 ペDESTリアンデッキの基本設計など	4億1,037万円	駅前自転車駐車場整備 2,218万円 小川駅西口地区市街地再開発事業による駅前広場の整備にあわせた検討
小平駅北口地区市街地再開発事業の推進 再開発準備組合への補助	40万円	農地の創出支援事業 177万円 農業者などが所有する宅地や雑種地の農地化などを支援
鷹の台駅前広場用地の整備 詳細設計など	5,655万円	都市農業活性化支援事業 4,695万円 小平市果樹組合に対するナシ根域制限栽培システムなどの導入経費補助
市道の無電柱化事業	1,119万円	農業体験ファーム（体験農園）整備事業 100万円
都市計画道路整備・鉄道立体化の推進 第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業など	1億9,351万円	農商連携地産地消・商業活性化推進プロジェクト 240万円 小平産の農産物の収穫体験や農産物直売所などを巡るスタンプラリーの実施
道路整備事業の充実 道路新設改良、道路維持、私道整備に対する助成	4億5,525万円	子育て中の女性の就労促進事業 332万円
		観光まちづくりの推進 3,190万円 こだいら観光まちづくり協会への支援



市内公共交通の充実
西部地域におけるコミュニティタクシーの実証実験運行経費補助など
5,187万円

健全で、進化するまちをめざして —地方自治・行財政—		
（仮称）第四次長期総合計画の策定	387万円	
市政世論調査の実施	271万円	
R P A、A I－O C Rの導入による課税事務の効率化	319万円	
住民情報システムの再構築 自治体クラウド化	1億1,739万円	
建築基準行政の実施に向けた準備 建築基準行政事務の移管に向けた管理システムの構築など	1,917万円	
小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備（公共施設マネジメントの推進）	8,462万円	
中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館の複合化（公共施設マネジメントの推進）	9,397万円	
十一小の更新等事業（公共施設マネジメントの推進） 基本計画の策定	609万円	

躍動をかたちに 進化するまちの実現を目指します

小平市長 小林正則

令和2年度は、私の4期目の任期の最終年度であり、また、第三次長期総合計画の15年間の最終年度として、これまでの取組を次の長期総合計画へと引き継いでいく年度です。西暦では2020年代と言え、これまでの取組も、これまで以上に「前へ、前へ」の精神で取り組んでまいります。

小平市では、人口は微増を続けていますが、現在、策定を進めている次期長期総合計画の期間には、いよいよ減少局面へと入っていくものと予想されています。

他方、地球規模の気候変動の影響が指摘されるなか、昨年は、関東圏でも大きな台風被害が相次ぎ、地震以外の災害への備えなど、地域の安全・安心への関心もますます高まっています。

こうした時代の大きな転換期を



来るべき新たな時代を見据えながら、今後の小平のまちの姿を形づくる取組の具体化を図っていく1年として、各事業を着実に推進し、次の長期総合計画のスタートへとつなげてまいります。

時代の変化にあわせて、地域の多様な主体と、未来への希望をつかり共有することも、行政システムの改革に取り組みながら、小平市がより魅力的なまちとなるための予算としています。

恐れることなく、参加と協働を市政の根幹に据えて、市民の皆さまや地域のさまざまな団体とともに、まちの魅力の向上や、課題の解決に取り組んでまいります。

	当初予算額	前年度比
一般会計	690億8,600万円	27億4,000万円 (4.1%)
国民健康保険事業特別会計	169億9,600万円	1億3,000万円 (0.8%)
後期高齢者医療特別会計	44億2,000万円	1億2,100万円 (2.8%)
介護保険事業特別会計	141億6,500万円	6億2,000万円 (4.6%)
合計	1,047億1,700万円	36億1,100万円 (3.6%)

下水道事業会計	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算額	43億5,116万1千円	39億4,553万4千円	10億9,744万1千円	17億9,730万8千円
前年度比	165万2千円 (0.0%)	△2,857万8千円 (△0.7%)	△1億225万1千円 (△8.5%)	△3億1,953万9千円 (△15.1%)

基金を繰り入れ 財源不足を補うため 市債を発行

基金は家計に例えると預貯金にあたるものです。歳入が足りない時に取り崩し、年度間の財源を調整している財政調整基金の残高は、令和元年度末残高見込みから10億4千996万6千円減り、18億5千1百44万4千円となります。

市債は、多額の資金を必要とする事業を行うために、国や金融機関などから借り入れるお金のことで、家計に例えると住宅ローンや自動車ローンなどにあたるものです。公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を借りて、長期にわたって、分割して返済することで将来利用する市民にも費用を負担していたりしています。

一般会計の市債現在高は、令和元

投資的経費は前年度と比べ39・4%増

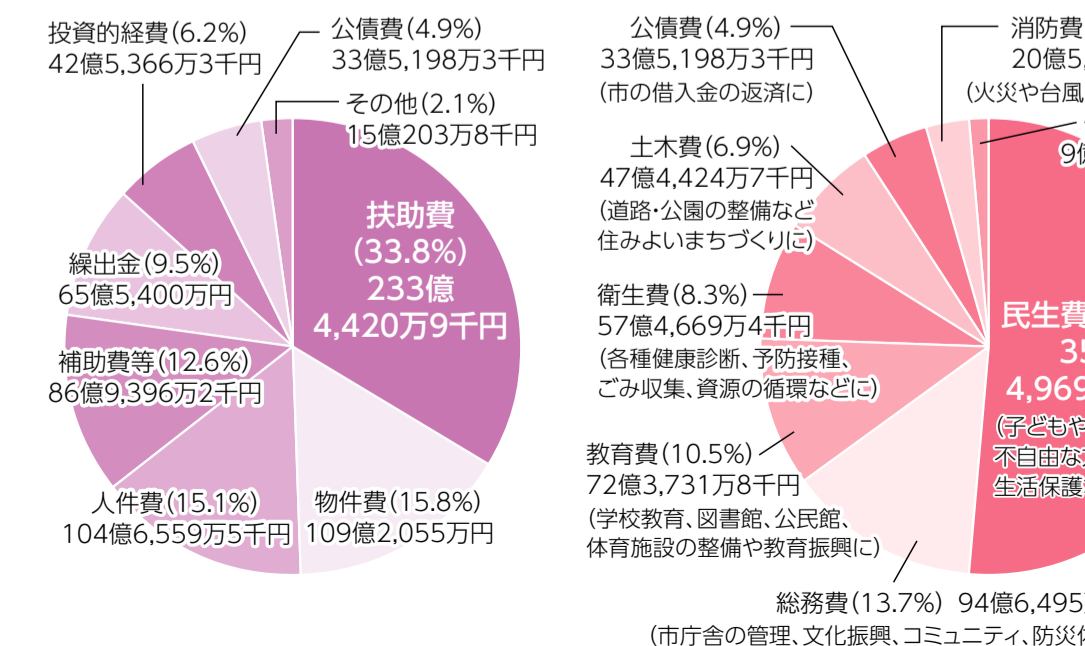
扶助費は、社会保障として児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などを支援する経費で、前年度と比較して、4億5千4百3万1千円、1・8%増えます。

物件費は、施設の光熱水費や物品の購入、事業の委託などの経費で、前年度と比較して、3億9千7百44万2千円、3・5%減ります。

人件費は、職員給与や市長、市議会議員の報酬などの経費です。会計年度任用職員制度の導入で、臨時職員の賃金が物件費から人件費に移行したため、前年度と比較して、8億8千9百83万5千円、9・3%増えます。

投資的経費とは、道路や公共施設整備などのための経費で、12億3百24万8千円、39・4%増えます。

一般会計 歳出（性質別内訳）



令和2年度 小平市の 予算

一般会計は 過去最大規模

一般会計の予算規模は、6,900億8千6百90万円、前年度と比較して4・1%増える、過去最大規模で編成しました。

歳入では 市税収入が前年度と比べ2・9%減

歳入（収入）の根幹となる市税収入は、固定資産税や都市計画税が増えましたが、市民税が大幅に減り、前年度と比較して、9億1千8百万円、2・9%減ります。

国庫支出金、都支出金は、幼児教育・保育の無償化などで、それぞれ前年度と比較して、9億6千6百50万1千円、8・1%、9億5千4百14万7千円、10・4%増えます。

各種譲与税・交付金は、配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金などが減りますが、令和2年度から新しく創設された法人事業税交付金が増えます。前年度と比較すると、8億8千2百91万5千円、16・9%増えます。

市債は、前年度と比較して、5億6千7百90万9千円、20・3%増えます。

歳出では 民生費が19年連続増

歳出（支出）では、民生費が民間保育園運営費や障害者自立支援給付費などが増えて、前年度と比較して、7億9百3万3千円、2・0%増えます。

民生費は19年連続して増加し、歳出全体に占める割合は51・5%になります。

総務費は、認定子ども園などへの施設型給付費や住民情報システム再構築などが増え、前年度と比較して、6億5千4百86万8千円、7・4%増えます。

教育費は、花小金井南中学校地域開放型体育館新築工事費などが増え、前年度と比較して、8億7千61万5千円、13・7%増えます。

衛生費は、リサイクルセンター地域還元エリア整備事業などが増え、前年度と比較して、1億6千4百14万2千円、2・9%増えます。

一般会計 歳出（目的別内訳）

